

1人1台時代の

ICT活用

第12回

「情報I」を支えるライフ イズテックレッス ン——25年「情報」共通テ ストを見据えて

讃井康智 (ライフイズテック株式会社取締役)

教科「情報」に大激動が起こる1年

2022年は高校の情報教育にとって、かつてない大激動の年になります。まず、高校新学習指導要領の新科目「情報I」がスタートするからです。「情報I」は大きく四つの項目から成り立ちますが、その中に「プログラミング」と「データサイエンス」の内容が必修で入ってきます。これまで多くの高校の教科「情報」の授業で実施されていた「社会と情報」にはなかった内容です。2018年の文部科学省調査では、情報科専任かつ常勤の先生は全国で17・5%しかないとい

うデータもあり、情報が専門でない先生が高度化した内容を教えないといけない問題もあります。

さらに大きな変化として、2025年から大学入学共通テストに教科「情報」が追加されることが昨年決定しました。朝日新聞と河合塾の共同調査では、昨年9月時点ですでに87大学が入試で「情報」の受験を課することを明言しており、国立大学を含むより多くの大学が受験を課していくと予想されています。つまり「情報I」の内容をきちんと理解していないと、大学受験に臨むことすらできない時代が3年後には来るのです。

「つくりながら学ぶ」授業を実現するエドテック —ライフイズテックレッスン

プログラミングやデータサイエンスを学ぶ上では、具体操作（実践体験）が重要です。具体的イメージを持つことで、抽象的な概念を理解することができます。小学校の算数でいきなり立式をしても理解が難しいように、「情報I」でも「つくりながら学ぶ」ことが大切です。

しかしながら、これまで実践的なプログラミングやデータサイエンスは、開発環境の用意が難しい、先生一人では生徒から出る多様な質問に対応しきれない、進捗格差が出るなどの問題がありました。

これらの問題を解決し、安定的に「つくりながら学ぶ」授業を実現するのが、私たちが全国の高校向けに提供している

「情報Ⅰ」向け教材「ライフイズテックレッスン」です。

「ライフイズテックレッスン」は、情報Ⅰの全内容を網羅し、Pythonを使ったプログラミングやデータサイエンスも実践的に学べ、AI開発体験もできます。

ここからはプログラミングの領域を例に、エドテック (EdTech) の存在意義を説明します。

ライフイズテックレッスンが実現することは大きく三つです。

①プログラミングやデータサイエンスの準備時間の最小化

情報担当の先生方が膨大な時間を使って授業準備されている問題を解決します。ブラウザからすぐ教材にアクセスし、教材の中でPythonのプログラミングをすぐにスタートできます。

②デジタルメンターによって実現する個別最適な学び

これまでたくさん質問が出て、先生1人に対応が難しかったところ、画面上のキャラクターが先生の代わりに「デジタルメンター」の役割を務めることで、不要な質問が出なくなり、各生徒は個別最適に学べます。先生は各生徒の進捗データを手元で見て、フォローが必要な生徒に個別の対応をする余裕を持てます。

③生徒それぞれがオリジナル開発までできる学習環境・カリキュラム

ライフイズテックレッスンでは、基礎を学んだ先の応用として各生徒がPythonでオリジナルの作品を作ります。身近

な「半径50cmの課題」を個別に設定し、その課題を解決するオリジナルWebサービスを作る学習体験まで、EdTechがあれば実現できます。

受験は通過点、AIも用いて社会課題を解決できる人へ

最後になりますが、「情報Ⅰ」のゴールは大学受験なのでしようか？ もちろんゴールの一つではありますが、進学とは関係なく、子どもたちがこれから生きる上で不可欠な情報活用能力を身につけることがゴールです。

今や社会人になれば、どんな業界の仕事もITやAIとは不可分です。それがSociety5.0の時代です。そんな時代を生きる子どもたちが近い将来「これ高校の時にやったから自信あるぞ!」となることは、彼・彼女たちを強く後押しすることになります。そのためには、まずは「情報Ⅰ」の授業を安定的に実施することが第一関門。そして、プログラミングやデータサイエンス、さらにはAIの知識を使った半径50cmからの課題解決体験が重要です。大変動となる2022年、ぜひ「情報Ⅰ」でライフイズテックレッスンを活用ください。

※ライフイズテックレッスン——高校「情報Ⅰ」Python・AIコースの詳細はこちらから。



(一社) ICT CONNECT 21 —— 「教育の情報化」に関係する皆さまにオープンな場を提供し、コネクトすることで教育を良くしていく団体。教育とICTについての情報を毎週メルマガで配信中!